

平成25年度再評価対象事業一覧表 (再評価実施後、一定期間(5~10年)が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)
 (対象：平成20年度再評価実施事業)

番号	項目	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	コスト削減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業案)
	再評価時点 H20	佐志川 総合流域防災事業 事業主体：県 事業地：唐津市	流路是正、狭窄部解消を行い、治水安全度を向上し、流域の浸水被害の軽減を図る。 計画流量 150m ³ /s 計画治水安全度 1/30	全体事業費：C=42.0億円 工期：S58~H33 改修延長：L=2,900m 計画流量：150m ³ /s 計画治水安全度：1/30 事業内容：掘削・築堤 護岸、樋管14基、橋梁6基、堰2基	水洗橋下流については、河床掘削を残して改修が完了している。 現在、水洗橋付近の改修を実施し、水洗橋より上流工区の用地買収の促進を図っているところである。 佐志橋他1基完成 (H19末進捗率 54%) (年平均進捗率 2.2%)	(過去の災害実績) S60.6 浸水戸数 189戸 農地浸水面積 20ha (地域の状況) 国道204号佐志バイパスの一部が完成し、供用開始している。	現在(B/C) 2.1		再評価実施後5年が経過	継続
	現時点 H25	佐志川 河川整備交付金事業(社会資本整備総合交付金：総合流域防災事業)		前回評価時より事業費が増額となった。 全体事業費：C=48.0億円 工期：S58~H33 改修延長：L=2,900m 計画流量：150m ³ /s 計画治水安全度：1/30 事業内容：掘削・築堤 護岸、樋管14基、橋梁6基、堰2基	弥右エ門橋下流は、河床掘削を残して改修が完了している。 現在、弥右エ門橋上流及び駄地橋付近の暫定改修を実施し、駄地橋より上流工区の用地買収の促進を図っているところである。 佐志橋他3基完成 (H24末進捗率 76%) (年平均進捗率 2.5%)	(過去の災害実績) 同上 (地域の状況) 国道204号佐志バイパスが完成し、供用を開始している。 佐志橋から汐入橋間の左岸流域において商業施設やアパートの建設が行われている。	最新のマニュアルに基づき、費用対効果を算出した。 ・総便益(一般資産被害額・農作物被害額・公共土木施設等被害額等) B=29,465百万円 ・総費用額 C=7,574百万円 ・現在(B/C) 3.9	・再生材の積極的利用 ・建設副産物の有効利用	再評価実施後5年が経過	昭和60年洪水被害を軽減するため、流路是正、狭窄部解消を行い、治水安全度を向上し、地域住民の安心・安全を確保するためには、当事業の継続が必要である。
	理由等	平成22年度より補助金が社会資本整備総合交付金化されたため		・地盤のすべり対策(地盤改良)の追加工事による増。 ・既設護岸利用としていたが、根入れ不足が判明したため、鋼矢板を用いた根継工を追加した事による工事費の増。		前回再評価時と比較し、住宅や事業所等の資産数量の増によりBが増加し、費用対効果の増となった。				